

事業名称	生演奏でつくるおんがくのまち「ほのぼのさんと音楽劇でわくわく」
団体名・代表者	ほのぼのさん 代表 澤崎美重子
協働の相手方	文化国際課

目的	未来を担う子供達に、音楽を通して達成する喜び、創り上げる喜びを感じてもらい、音楽、芸術を好きになってもらうとともに、子供達に交流の場を設け、音楽をツールとして繋がる世界を体感してもらうことを目的とする。
内容	9月から姫路市全域の小学生対象に「音楽劇」参加の呼びかけの結果、申込者70名、10月24日にオーディションの結果、42名の参加者となった。 11月18日から、本番までの2月24日までの間に、演劇表現、音楽練習16日間を経て、本番「音楽劇 わくわくの森へ行こう」を開催
事業経過	12月までは、お友達同士の名前を覚え、演劇、音楽の基礎表現を練習する。 1月からは、本格的に、セリフ、動きを入れ、音楽劇の中身を深く練習する。 2月からは、通し稽古3回を経て、本番2月24日に向けて、気持ちを整えていく
事業の効果	知らないお友達同士が集まっていましたが、どんどん横のお友達と話をするようになり、1月現在、毎週日曜日に通うクラブ活動のような雰囲気がある。 親同士も横のつながりが出来てきて、一つのものを作り上げる連帯感が生まれてきた。
今後の展望	今回の音楽劇で培った横のつながり、一つのものを作り上げる連帯感、協調性など、現在の子供達に不足しがちな経験を通して、次もやってみたい。音楽が楽しい。といった声が集まり、第2弾の音楽劇が開催できれば嬉しい。

【実施団体の事業総括・感想等】

1歳から小学6年生までのお友達が、姫路市の各所から集まり、そして、友情を深め、一つの「音楽劇わくわくの森へ行こう」を協働で創り上げた。 大人も子どもも毎週毎週、通い続けた姫路市演劇練習所。 1人もかけることなく、本番2月24日は42名。 全員の音楽劇に対する思いが大きくなり、観客の皆さまへ熱いメッセージを送ることとなった。 今回参加してくれた42名は、きっと、いつかまたこのメンバーと一緒に音楽劇を作りたいと思ったと思う。 未来を担う子どもたちが約5か月間をかけて、また一緒に頑張りたい、仲間に会いたい、音楽をやってみようという気持ちになり、芸術というものに触れる最初の一步。 この成果が、子どもたちが音楽や芸術を好きになるきっかけとなり、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、次世代を担う子どもたちの育成」にもつながると考える。
--

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

【文化国際課】 幅広い年齢の子どもたちに音楽や演劇をする楽しさ、仲間とともに一つの作品を創り上げる充実感を存分に経験してもらえ、次代を担う子どもたちの育成という観点から、意義のある事業であった。また、参加者募集ちらしの市内全小学生への配付、練習場所の確保や市政記者への資料提供など、市との協働による効果も十分に活かされた。 今回の参加者が引き続き活動を継続していくことを期待するとともに、今後も継続的に音楽や演劇などの芸術を通じた子どもたちの育成と地域の文化力向上に努めてほしい。
